

## 公益財団法人 日本サッカー協会

## 2015年度 第8回理事会

## 追認事項

<p>1. 日本人指導者海外派遣の件</p> <p><b>(追認) 資料No.1</b></p> <p>ベトナムサッカー連盟 (VFF) からの要請を受け、アジア貢献事業の一環として、以下の指導者を下記の期間派遣する。</p> <p>派遣指導者： 久保 真一 (くぼ しんいち) (36歳)</p> <p>派遣先協会： ベトナムサッカー連盟 (VFF)</p> <p>役 職： ベトナム代表チームアスレティックトレーナー</p> <p>契約期間： ①9月1日～9日、 ②9月27日～10月14日、 ③12月6日～2016年1月20日</p> <p>※ワールドカップアジア2次予選及びAFC U-23選手権に合わせ3回の派遣</p> <p>費用負担： [JFA] 給与の一部、傷害保険料、往復航空運賃 (1往復) [VFF] 給与の一部、住居、国内移動車両、往復航空運賃 (2往復)</p> <p>略 歴： 添付別紙の通り</p> <p>&lt;背景及び実施理由&gt;</p> <p>2015年9月及び10月のFIFAワールドカップアジア2次予選及び来年1月のAFC U-23選手権2016カタール大会に向け、VFFよりアスレティックトレーナー派遣の要請があった。VFFが、2015年2月から6月まで同代表チームに派遣された久保氏を希望したため、JFA医学委員会が承認したものを。</p>
<p>2. モンゴルサッカー連盟とのパートナーシップに関する覚書締結の件</p> <p>モンゴルサッカー連盟 (MFF) の要請に応じ、アジア貢献事業の一貫として以下の内容でパートナーシップに関する覚書を締結した。</p> <p>&lt;協定内容&gt;</p> <p>目 的： 両国におけるサッカーの相互利益、促進、成長、成功に向けた両協会の関係強化。サッカーがスポーツ活動であるだけでなく、国際理解のための社会的手段であるという事実を踏まえた、サッカーの価値と伝統の保護。</p> <p>実施事項： 下記事項について可能な限り協力していくこと。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・女子U-14代表監督のJFAからの派遣</li> <li>・サッカー施設の建設/管理及びトレーニング機器に関する経験と専門知識の交換</li> <li>・スポーツ科学、スポーツ医学、医療機器に関する専門知識の交換</li> <li>・技術関係教材の交換</li> <li>・モンゴルの女子代表チームの日本でのトレーニングキャンプへの協力</li> <li>・各種コース、セミナー、カンファレンスなどの交流プログラム</li> </ul>

期 間：2015年9月15日（調印式実施日）～2016年9月14日  
（1ヶ月前に書面での通知がなければ3年間を限度として毎年自動更新）

＜背景及び実施理由＞

2015年8月にMFFより要請があり、内容について審議した結果、上記の内容で締結する運びとなった。AFC U-16選手権の予選でU-16日本代表がウランバートルにてU-16モンゴル代表と対戦するため、それに合わせて調印式を行いたいという希望が先方からきている。

なお、他協会とのパートナーシップ締結は、2005年のフランスサッカー連盟に始まり、スペイン、ドイツ、シンガポール、タジキスタン、アラブ首長国連邦（UAE）、ヨルダン、ベトナム、イラン、インドに次ぎ、11件目となる。

3. JFA アカデミー堺 スタッフの件

**（追認）資料No.2**

JFA アカデミー堺のスタッフを、以下の通り選任した。

コーチ：種田 佳織（たねだ かおり）